

大阪市胃がん検診（胃内視鏡検査）

受診のご案内

【必ずお読みください】

この検診は、がんに関する正しい知識の普及とがんの早期発見、早期治療のために市内取扱医療機関の協力を得て、大阪市が実施しているものです。

受診を希望される方は次の内容を確認・承諾の上、大阪市胃がん検診（胃内視鏡検査）申込書・個人票の受診者署名欄にご署名いただき、太線内に必要事項をご記入ください。

《受診資格について》

満50歳以上の大都市民の方が対象です。（この検診は2年に1回の受診となります。）

*4月1日～翌年3月31日までを1年とします。

次に該当する方はこの検診の対象となりません。

- ① ご加入の医療保険や会社等で同等の検診※1を受ける機会のある方
- ② 今年度中に同等の検診※1（自費で受診した検診）を会社や病院で受けた方
- ③ 今年度中に同等の検診※1を他の自治体で受けた方
- ④ 検診部位の病気等で治療中・経過観察中の方※2
- ⑤ 自覚症状のある方
- ⑥ 疾患の種類にかかわらず、入院中の方
- ④と⑤は、状況に応じて適切な検査方法により胃の状態をみる必要がありますので、専門の医療機関で診察を受けてください。

※1 同等の検診とは胃部エックス線検査を含みます。

※2 治療中・経過観察中とは

検診での観察部位（食道・胃・十二指腸球部）を治療中もしくは内視鏡にて経過観察中の方ただし、服薬のみで治療中の方は受診できます。

なお、対象外の方が受診されますと、全額自己負担となることがあります。

《検査について》

この検診では、内視鏡を用い、胃の中を直接観察します。

（内視鏡は口から検査する場合と鼻から検査する場合があります。）

次に該当する方は胃内視鏡検査を受診できません。

- ① 妊娠中、妊娠している可能性のある方
- ② 胃全摘出後の方
- ③ 抗血栓薬で治療中の方（血をさらさらにするお薬）
- ④ 咽頭や鼻腔に重篤な疾患があり、内視鏡の挿入ができない方
- ⑤ 呼吸不全のある方
- ⑥ 急性心筋梗塞や重篤な不整脈などの心疾患のある方
- ⑦ 明らかな出血傾向またはその疑いのある方
- ⑧ 最高血圧が極めて高い方
- ⑨ 全身状態が悪く、胃内視鏡検査に耐えられないと判断される方

《結果について》

●結果の通知方法については、医療機関にお問い合わせください。

●がん検診すべてのがんが発見できるわけではありません。検診の結果が「異常は認められませんでした。」であっても、自覚症状や気になることがあれば、医療機関を受診してください。

●この検診の結果が、「詳しい検査（精密検査）が必要です。」であった場合は、すみやかに医療機関で精密検査を受診してください。

胃がん検診について

胃がん検診は症状のない時期にできるだけ早く胃がんを見つけ、早く治療する目的で行われています。その方法には胃部エックス線検査と胃内視鏡検査があり、いずれもその効果が証明されています。

《検査方法》

胃内視鏡検査か胃部エックス線検査のどちらかを選択して受診してください。

胃内視鏡検査は2年に1回、胃部エックス線検査は1年に1回受診できます。

前年度の受診状況により、今年度受診できる項目が変わりますので、次の表で確認してください。

前年度	今年度	胃内視鏡検査	胃部エックス線検査
自治体が実施する胃内視鏡検査		×	×
人間ドック・診療・会社での胃内視鏡検査			
胃部エックス線検査			○（選択制）
受診なし			

〔精密検査が必要です」と判定された場合（精密検査は保険診療です。）

要精密検査と判定された場合は必ず精密検査を受診し、病気の有無を確認してください。

○胃部エックス線検査で要精密検査と判定された方は胃内視鏡検査を受診してください。

○胃内視鏡検査で要精密検査と判定された方は再度の胃内視鏡検査や生検（胃の組織の一部を採取し、顕微鏡等で調べる検査）などを受診してください。

〈胃がん検診の利点と欠点〉 利点と欠点をご理解されたうえで受診してください。

利点：胃部エックス線検査及び胃内視鏡検査による胃がん検診は、死亡率減少効果が証明されています。

欠点：がん検診で必ずがんを見つかるわけではありません。また、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合もあります。

《効果的な検査を行うための取り組みについて》

●大阪市では、効果的で精度の高い検診体制を維持するために、検診結果の追跡調査等を行っています。

具体的には、この検診の結果が出た後に、精密検査が必要となった方に対して、精密検査の受診状況や結果をご本人及び受診医療機関に、文書や電話で問い合わせることができます。

●大阪市では、胃内視鏡検査の精度管理維持のため定期的に各医療機関で検診を受診した方の内視鏡画像を確認しています。

●検診に関する個人情報は、大阪市個人情報保護条例に基づき取扱います。

また、検診の結果及び撮影した画像等は、個人を特定できないデータとして、年度ごとに集計・分析・報告を行い、次年度以降の検診をより効果的なものにするための検討資料や研修資料、啓発のための基礎資料として活用させていただきます。

この用紙には大切な事項が書かれていますので、必ず持ち帰って保管してください。
また裏面もご覧下さい。

（受診者用）

経口内視鏡と経鼻内視鏡の比較



経口

経鼻

挿入経路

口から挿入

鼻から挿入
(会話ができます)

先端の直徑

8～10mm

5～6mm

内視鏡の画質

より精密検査に適した高画質

通常の検査では十分な画質

嘔吐感

あり

ほとんどない

挿入時のつらさ

気になる

ほとんど気にならない

前処置

約10分

約15分

所要時間

約5～10分

約10～15分

検査

できる

できる

組織採取

できる

できる

検査時の注意点

鼻腔が狭い場合、挿入できないことがある

（参考資料：大阪市個人情報保護条例に基づく）

<